

Kproject DB設計書

2014年9月15日 現在

1. DB構成図

2. 実行クエリー

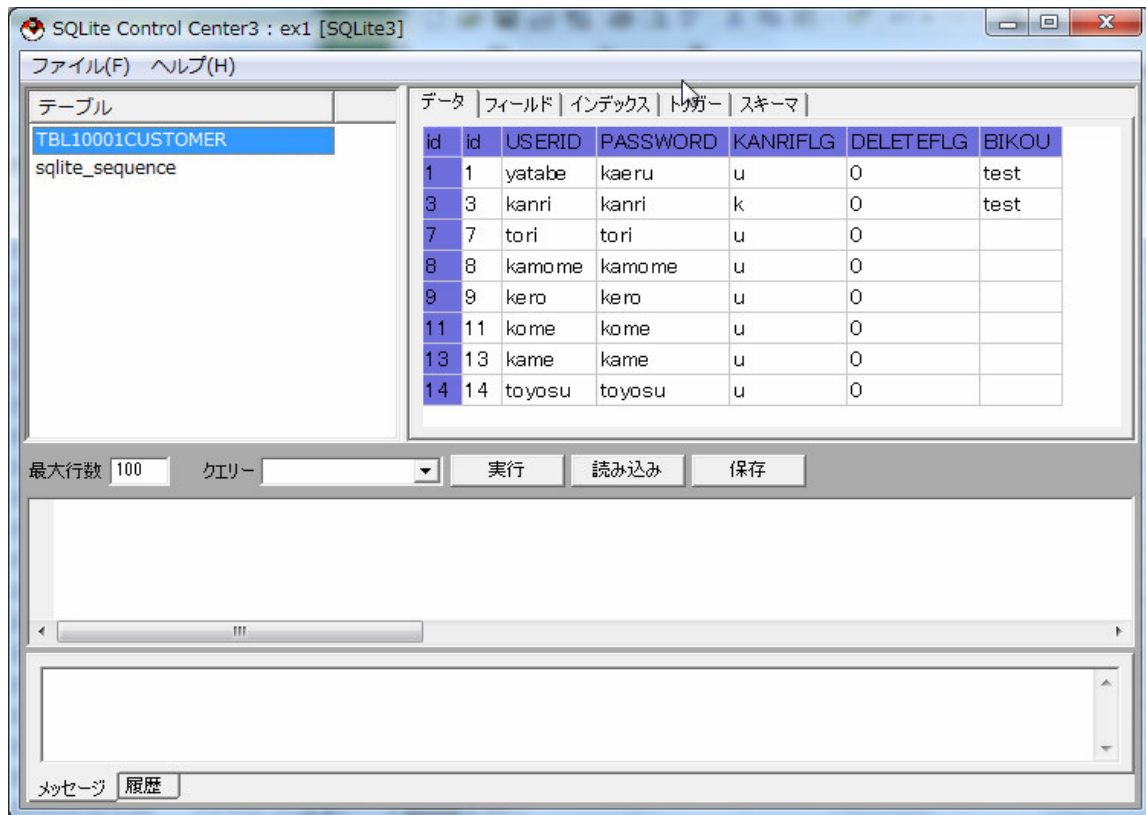
3. JDBCドライバ・DAO設定

1.DB構成図

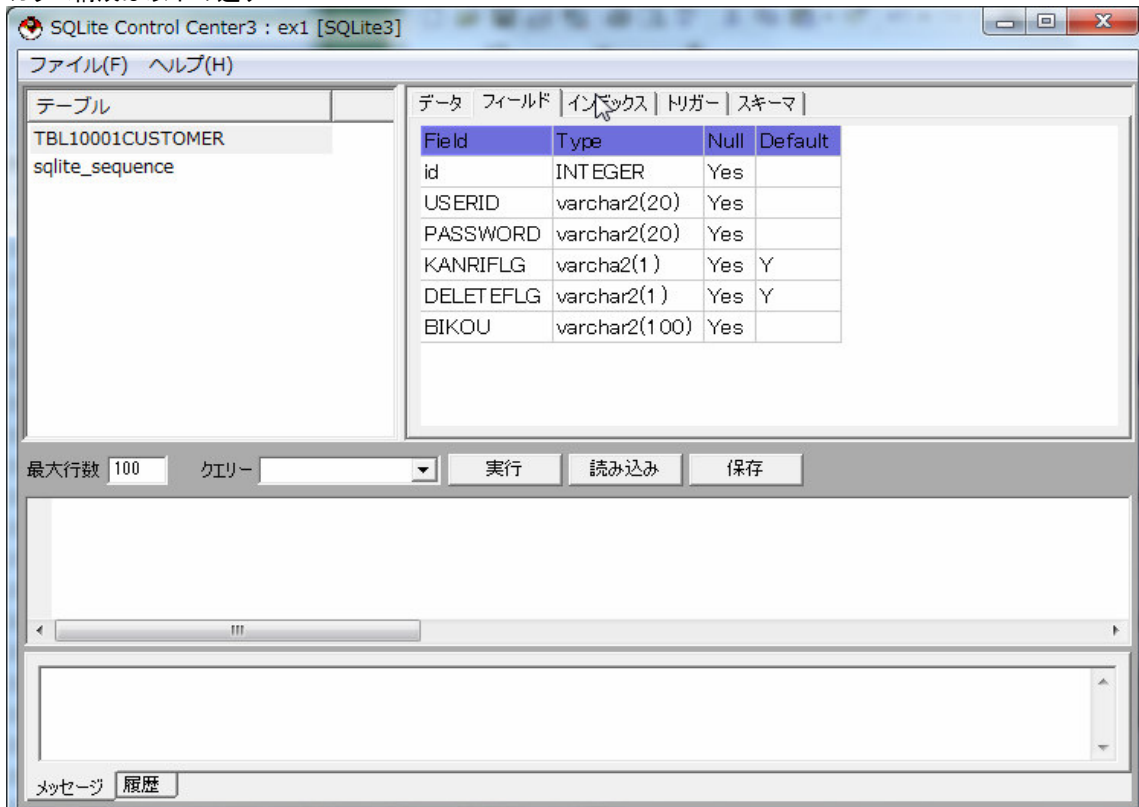
SQLiteで、以下の構成のファイルDBを構築

TBL構成は、認証に用いる「TBL10001CUSTOMER」のみを作成

スキーマ - TBL10001CUSTOMER

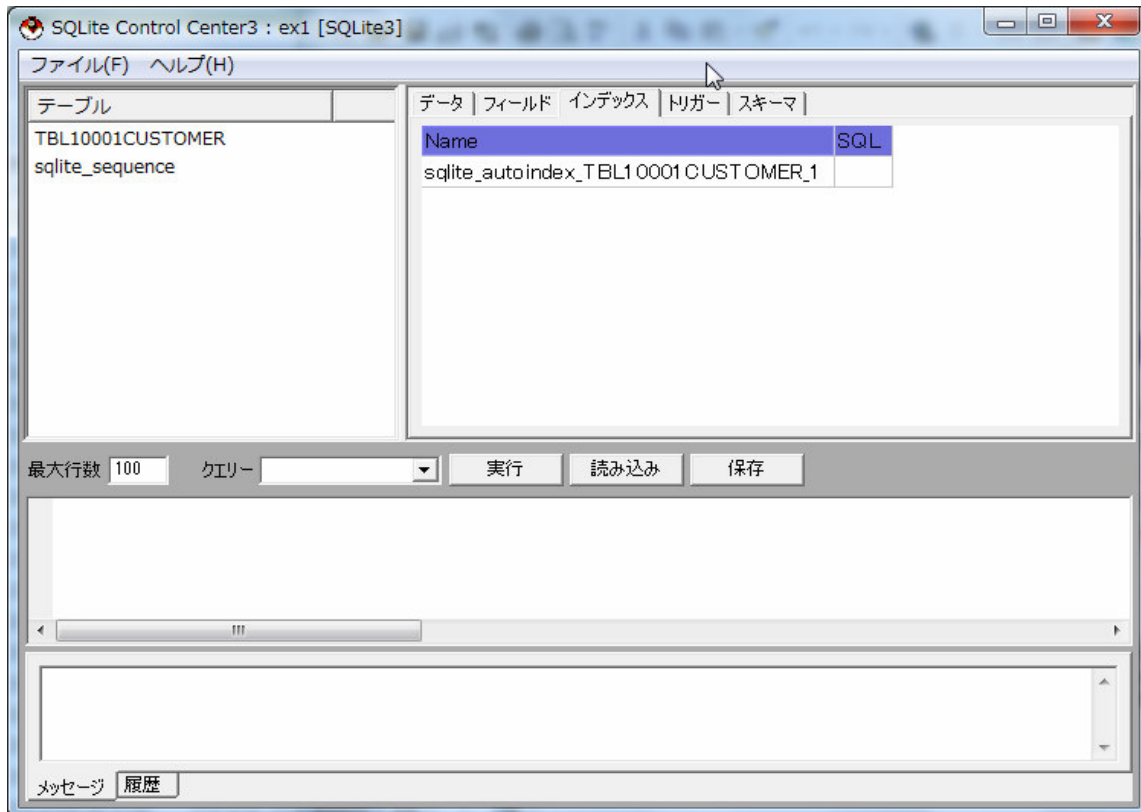


カラム構成は以下の通り



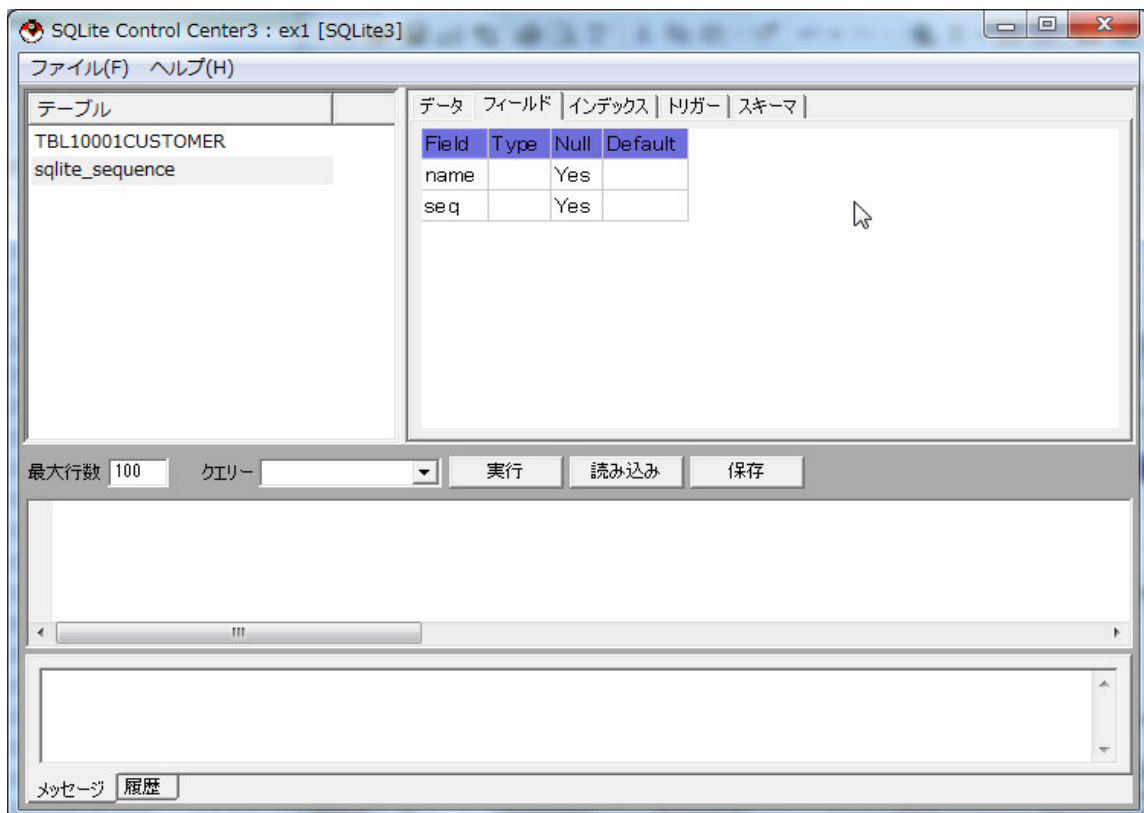
1.DB構成図(続き)

プライマリキーは自動採番列とする



sqlite_sequence - ジェネレータ

※特に明示的にSQLを発行しなくてOK



2. 実行クエリー

DB名

ex1.db

(アップしたzipファイルを解凍しC:\JAVA_HOME\sqlite 配下に配置下さい。)

★JAVA_HOME がディレクトリ名

コマンドから作成する場合は、\$ sqlite ex1 <Enter>、続けてTBL1001CUSTOMERのCreate文をタイプ下さい。

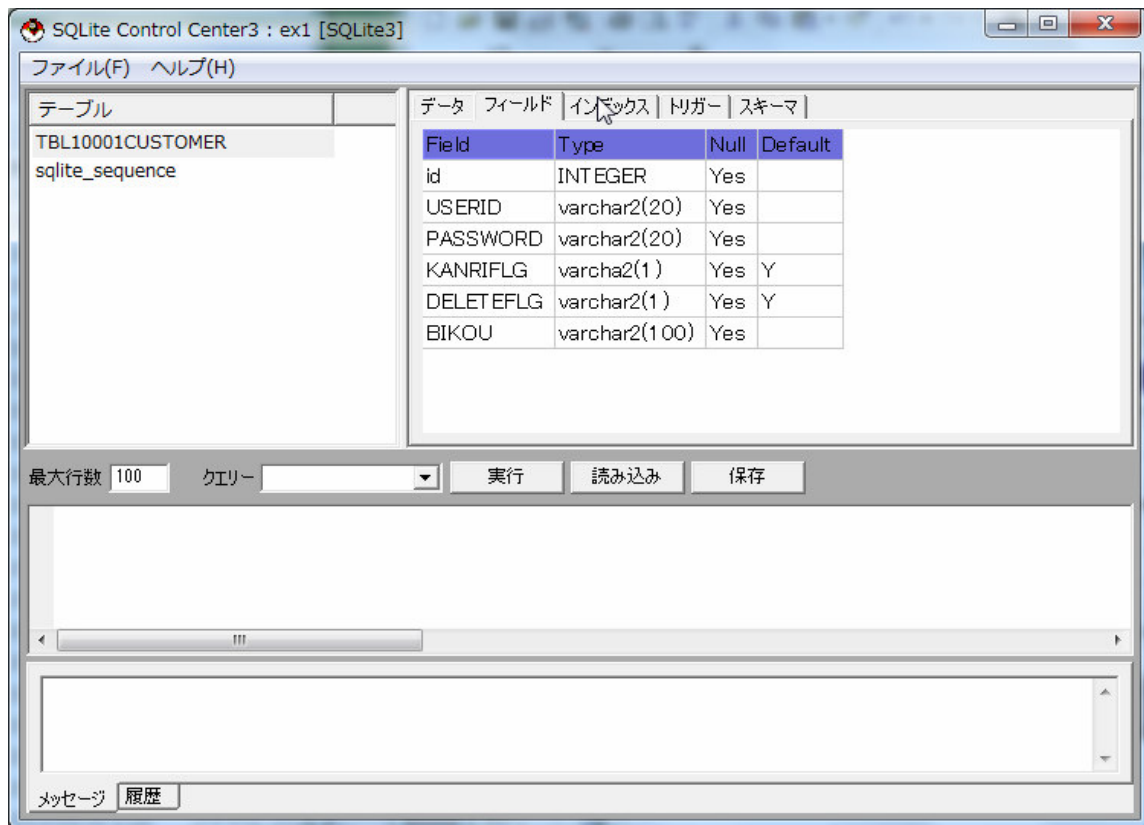
スキーマ - TBL1001CUSTOMER

TBL1001CUSTOMER 作成

ユーザID、パスワードは半角英数字で登録をお願いします。

```
CREATE TABLE TBL1001CUSTOMER
(id INTEGER PRIMARY KEY AUTOINCREMENT,
USERID varchar2(20) UNIQUE,
PASSWORD varchar2(20),
KANRIFLG varchar2(1) DEFAULT "0",
DELETEFLG varchar2(1) DEFAULT "0",
BIKOU varchar2(100) NOT NULL );
```

No	カラム名	和名	説明
1	ID	ID	自動採番
2	USERID	ユーザID	ユニーク制約
3	PASSWORD	パスワード	
4	KANRIFLG	管理者フラグ	管理者=k 一般=u
5	DELETEFLG	論理削除フラグ	論理削除=1 有効=0
6	BIKOU	備考欄	備考



管理者権限ユーザの作成 (例)

※管理者ユーザは、画面から生成できません。(セキュリティ保持のため非表示にしています。)

INSERT INTO TBL1001CUSTOMER (USERID,PASSWORD,KANRIFLG,DELETEFLG,BIKOU) VALUES ('kanris','kanris','u','0','');

※現行は ユーザID:kanri パスワード:kanri というユーザを登録しています。

管理者権限ユーザは以下の操作権限を有します。

(ログイン認証画面で管理権限を持つユーザでログインしなければ、下記のツールにはアクセスできません。)

1. プロジェクト制御(ミラーリング実行)
2. プロジェクト制御(ミラーリング停止)
3. 管理ツールの操作(ユーザ追加、削除)

3. JDBCドライバ・DAO設定

JDBCドライバの配置

JavaからDBアクセスを行うので、SQLiteのJDBCドライバを配置願います。

¥¥ait¥¥db¥¥sqlite.zip を解凍すると、直下に「sqlite-jdbc-3.7.2.jar」があります。

こちらを外部jarとしてEclipseの外部jarの追加より、PATHに追加下さい。

少々お行儀が悪いのですが、てっとり早く\$JAVA_HOME/jre/lib/ext 配下に置いておく、でもかまいません。(矢田部はそうしていますw

SQLiteの配置やDB名を変更する場合

フレームワーク内でDBアクセスをする際の基底クラスは

package hoge hoge.com.db.KjdbcConnect.java です。

ソースの下記の部分を変更してコンパイルいただけますようお願い致します。

